

令和3年12月8日

ご利用者・ご家族 各位

社会福祉法人 ライフ・タイム・福島
施設長 久保田 尚子
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症について

12月に入り、山々も冠雪し本格的な冬の到来を迎えましたが、風邪などひかれておられませんか。

さて、年末恒例の新語・流行語大賞は、大リーグ・エンゼルスの大谷翔平投手「リアル二刀流/ショータイム」が受賞しましたが、トップ10には「人流」が選出されました。昨年の「3密」「ソーシャルディスタンス」などに続いて、新型コロナの感染防止対策の言葉から選ばれております。流行語になるくらいに、私たちは、「人流」「3密」などを常に意識した日々を過ごすことで、ここまで感染者数を減少することができていると思います。

実際に、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が全面解除されて以降、全国的に新規感染者数は激減しており、福島県内でも、11月中に4名、12月に1名(12/8現在)に留まっております。ワクチンの効果もあると思いますが、一人ひとりの自覚ある行動の賜物だと思います。

現在のように感染者数が少ないときは、遠方の家族、友人との再会、旅行など、今まで我慢してきたことを実現できる絶好のチャンスでもあります。当法人でも、対面での面会を再開しパネル越しではありますが、徐々に笑顔、涙で再会されているお姿を拝見すると嬉しい気持ちでいっぱいになります。今後は、寒さ対策等、面会室の工夫を行っていきますが、新型コロナウイルス、インフルエンザの感染状況によっては、再度、面会制限をさせていただくこともありますので、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

県知事、福島市長のメッセージにもありますが、“オミクロン株”の状況も注視しながら、手洗い・消毒・うがい、マスク着用など基本的な感染防止対策を着実に実行しつつ、穏やかな年末年始を迎えることができればと思います。

これからも、私たちは、気を緩めることなく「新型コロナウイルスを、持ち込まない、持ち出さない、拡げない」ための取り組みを継続して参りますが、ご利用者、ご家族の皆様には、様々な面でご不便、ご迷惑をおかけしていることは十分に承知しております。ご意見、ご助言等がございましたら、担当職員までお申し出ください。よろしくお願いいたします。

担当：法人事務局

TEL 024-567-5800